

雪の城下町を歴史とともに雛めぐり

雛めぐり



武家が住んでいた内町(武家屋敷)では藩政時代の角館地方の領主佐竹北家に伝わる享保雛や古今雛、そして町人の押絵雛を展示する樺細工伝承館その旧家臣の屋敷を公開し伝来の古今雛が観られる石黒家蘆名家譜代の家柄の河原田家に伝わるお雛様青柳家においても展示する予定です。町人の外町では江戸期からの呉服屋たてつ家の座敷ではひな壇がズラリ。嘉永六年創業の安藤醸造本店のお座敷や煉瓦蔵内に展示。雛めぐり拠点のまち角や角館駅前蔵も見逃せません。ぜひお越しください。



主なイベント(体験など予告)

- 2/17 外町交流広場でオープニングセレモニー
 - 10:00～オープニング
 - 10:30～振る舞い餅
 - 11:00～親子雛ガイド
 - 10:00～12:00 箱ぞり体験など
- 2/22・23 と 3/2・3 角館駅前蔵で角館押絵づくり体験
 - 10:00～15:00
 - 体験料 1500円
- 2/23・24・25 と 3/2 まち角でおひなさま似顔絵
 - 11:00～16:00(受付は15:00迄)
 - 制作料 1200円より
- 3/3 角館樺細工伝承館
 - 13:30～
 - 角館押絵ギャラリートーク
 - 角館押絵伝承会・参加料500円

角館の押絵雛

角館では古くから桃の節句や端午の節句に、人形などと一緒に押絵を飾る風習が受け継がれてきた。幕末から明治にかけて、郷土の日本画家の平福穂庵や子の百穂をはじめ郷土画家が押絵の下絵や面相を描いた。祭りに欠かせない人形師がいて、芝居好きな土地柄だったこと、呉服屋が多く衣装生地も豊富で、庶民の間で押絵が広がった。



- 主な展示会場 ●まち角・雛めぐり拠点
- 樺細工伝承館・写真右上
 - 安藤醸造本店・写真右下
 - 角館駅前蔵・写真右下
 - たちつ家・史料館見学



角館雛めぐりの詳細はこちらからどうぞ
<https://r.goope.jp/hinameguri>

雛めぐり案内ガイド

- 開催日 5回予定しております
- 2/17(土)・18(日)・23(金)・25(日)・3/2(土)
- 集合出発＝角館駅前蔵
 - 13:00より2～2.5時間
 - 1回先着10名様(要予約)
 - 料金2500円(施設入館料・茶代含む)
 - お問合せ＝仙北市商工会
- tel0187-54-2304

2024 令和6年 2月17日(土) → 3月3日(日)

お問合せ先 仙北市商工会角館本所 TEL0187(54)2304 [9:00～17:00/土日・祝祭日除く]
 仙北市観光情報センター「角館駅前蔵」TEL0187(54)2700 [9:00～17:30]